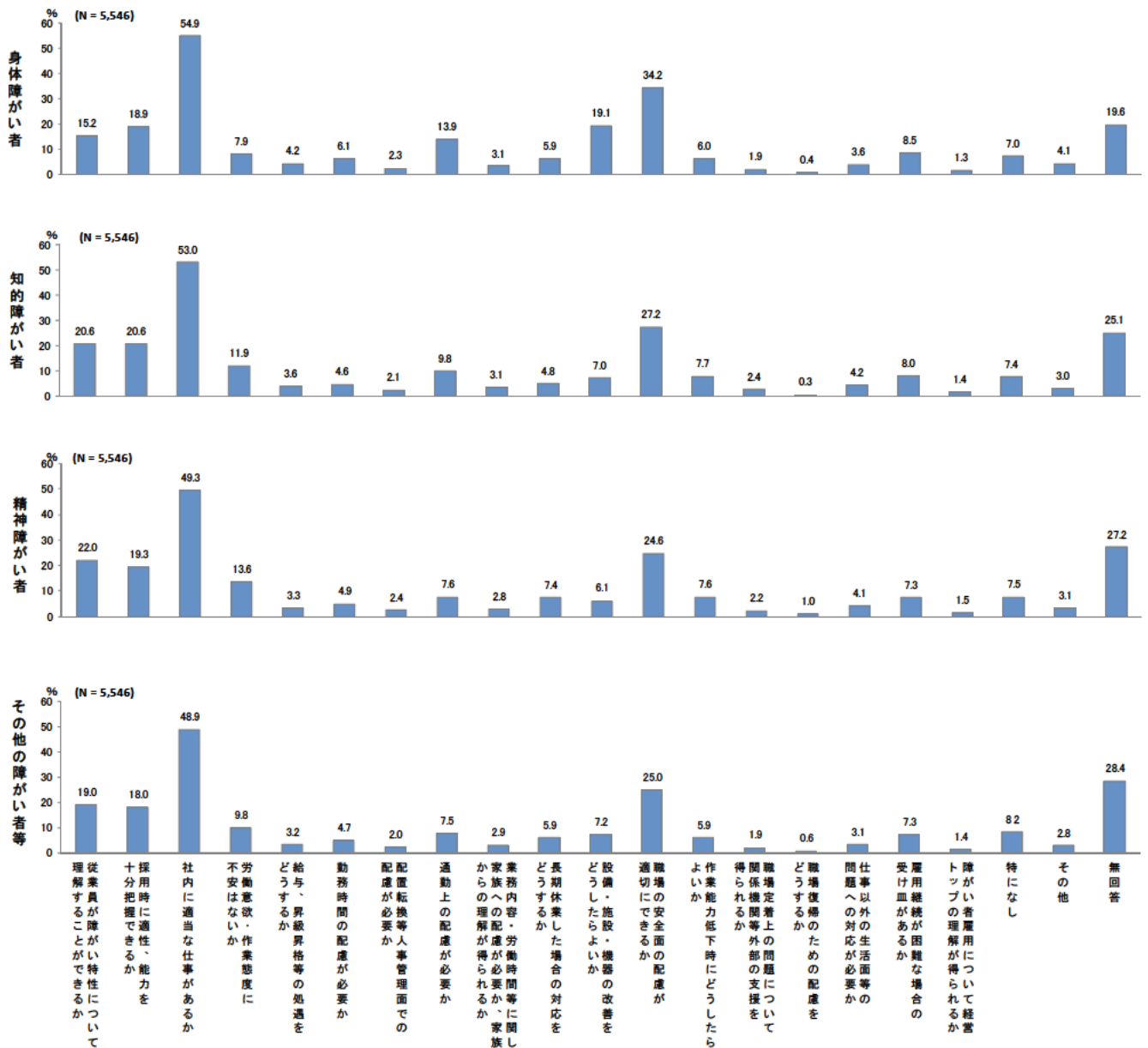


(4) 障がい者雇用への課題

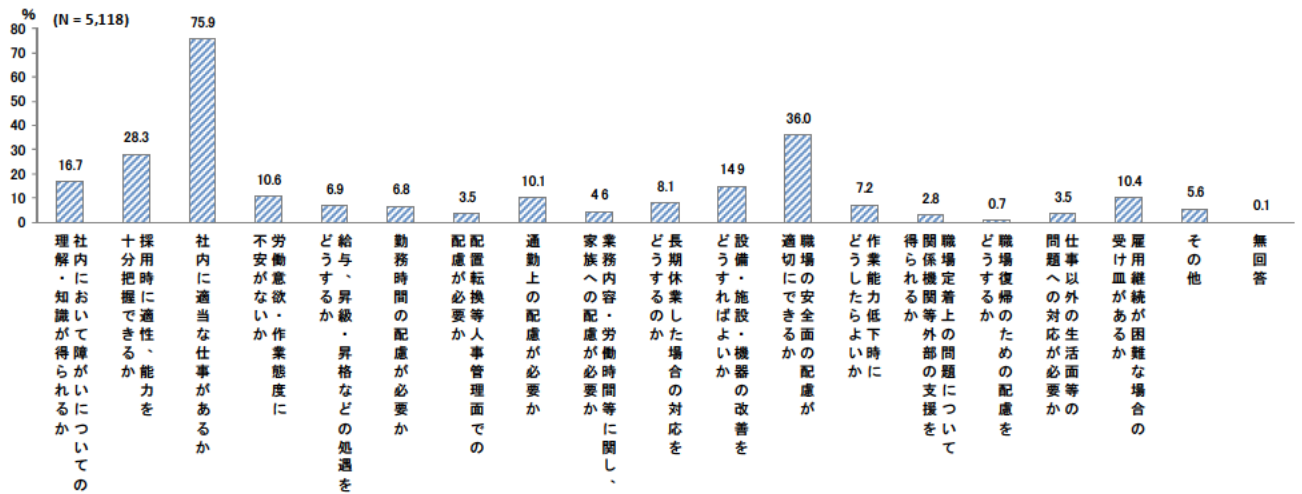
問7 障がい者の雇用を検討又は雇用を推進するうえで、不安な点（課題）はありますか。あてはまるものを障がい等の種類別に最大4つまで○を付けてください。



障がい者の種別に関わらず、雇用の課題として「社内に適当な仕事があるか」が最も高く、次いで「職場の安全面の配慮が適切にできるか」が高くなっている。この他、身体障がい者では、「設備・施設・機器の改善をどうしたらよいか」も高くなっているが、知的障がい者、精神障がい者、その他の障がい者等では、「採用時に適性、能力を十分把握できるか」「従業員が障がい特性について理解することができるか」が高くなっている。

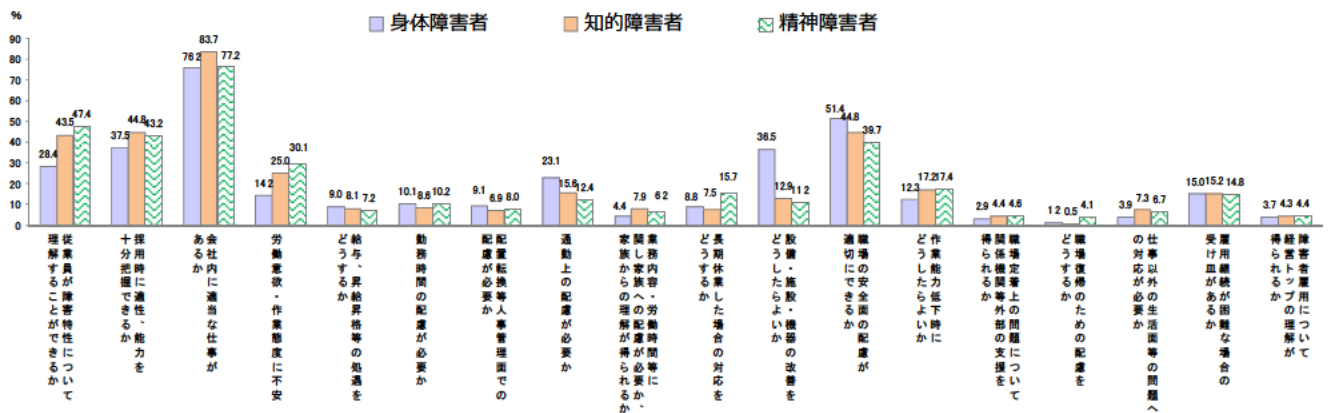
《参考 平成 25 年度における三重県調査（前回）との比較》

前回も、「社内に適当な仕事があるか」が最も高い。



《参考 平成 25 年度障害者雇用実態調査（全国）との比較》

全国調査でも、障がいの種類に関わらず「会社内に適当な仕事があるか」が最も高い。



(出典：「平成 25 年度障害者雇用実態調査結果」(厚生労働省) を加工して作成)